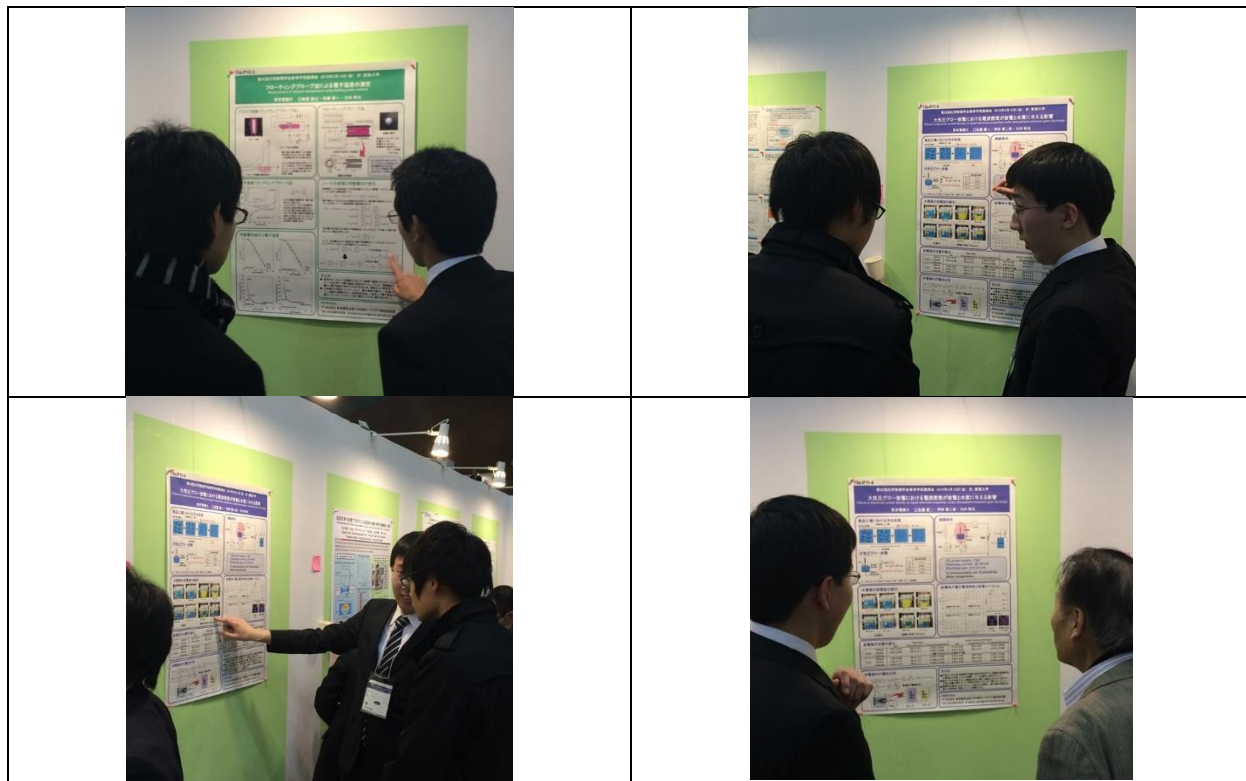


学会発表を終えて

2015年3月11日～14日に第62回応用物理学会春季学術講演会に参加しました。私は「フローティングプローブ法による電子温度の測定」というテーマで発表を行いました。発表が始まると次第に聴講者が集まり、自身の研究について説明しました。始めは緊張しましたが、次第に緊張も薄れていき質問にも上手に答えることが出来るようになってきました。

先月行った卒業論文の発表会や研究室ゼミの報告とは異なる雰囲気、専門に研究されている方々からの質問、感想を頂きました。より研究に深く踏み込んだ質問や、自分が持っていない視点からの助言は今後の活動への刺激となりました。また、プラズマについて知っている方でも計測法は専門外という方も足を止めて下さり、研究の説明に力が入りました。大学4年間の集大成となり、来月から迎える社会人生活のためのいい経験ができたと思います。

研究は他の人に理解されることが重要と感じました。後輩にもぜひ学会発表に挑戦して欲しいと思います。



2015年3月18日

作成 S.N K.K